教会の伝道活動を応援するために
「伝道団体」をご活用ください。

伝道団体の情報誌
協力
97
2022.7

伝道団体連絡協議会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室 dendodantairenrakukyogikai.jimdofree.com

巻頭言

イエス様は「難民」だった！

ハンガーゼロ総主事
近藤高史

ロシアによるウクライナ侵攻から1ヶ月後の3月24日、私はウクライナとポーランドの国境の検問所「メディカ」にいました。そこには国境を越えポーランドへ逃げてくるウクライナ難民の方々が、長蛇の列をなして避難所へ向かうバスを待っていました。18才から60才までの男性は国防のため国内に残るように言われ、仮に国境まで一緒に逃げてきたとしても、そこから先は女性と子ども、老人たちしか脱出することができません。ですから難民の9割以上が女性と子どもとのことでした。（注：3人以上子どもがいる場合と、家族に障がい者がいる場合を除く）

検問所の緑の柵を越え、ポーランドへ入ってくる難民たちを見ていると、多くのお母さんたちが、少ない荷物を背負い、片手で赤ちゃんを抱え、もう片方の手で小さな子どもの手を引いている姿をたくさん見掛けました。

長引くロシアとの戦闘で、ウクライナから隣国へ脱出する難民は600万人以上、国内でも戦火を逃れ故郷を離れる国内避難民が、700万人以上いると言われています。合わせるならウクライナ全人口（約4300万人）の実に3割が、避難生活を余儀なくされているのです。（注：地図は侵攻から3ヶ月後の5月時点での難民数）

「彼らが帰って行くと、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。『立って幼子とその母を連れてエジプトへ逃げなさい。そして私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を捜し出して殺そうとしています。』そこでヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに逃れ、ヘロデが死ぬまでそこにいた。」マタイ2：13～15

日本に戻り、改めてウクライナ難民の姿を思い起こしている時に、はたと気づいたことがありました。それは「そうか、イエス様も難民だった！」ということでした。ヘロデの手を逃れるため、生まれたばかりのイエス様を抱いて、ヨセフとマリアはベツレヘムから国境を越えて、エジプトまで逃げたと聖書には記されています。今、ウクライナで起きている難民たちの痛みや悲しみも、生まれたばかりのイエス様はすでに体験され、そのすべてをご存知だったということに改めて気づかされ、感謝な思いが湧いてきました。

あのお母さんたちが抱えていた赤ちゃんの中に、確かにイエス様はおられた。この難民の方々に仕え働くことは、すなわちイエス様にさせて頂くことなのだ。その恵みと責務をハンガーゼロは、いえ今、この時代に生きるすべてのクリスチャンは任せられている、そんなことを考えさせられました。

「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、それも最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです。」マタイ25：40

第38回伝道団体連絡協議会　総会報告　【情報交換】

日時●2022年4月11日(月) 午後3時～4時半
〈報告〉新生宣教団　刀祢健作（伝団協 広報担当）

第38回伝道団体連絡協議会総会が、2022年4月11日　午後3時から4時半　Zoomにて行われました。

コロナ禍にありながらも、Zoomにより開催できましたことは感謝でした。

開会礼拝として、姫井雅夫会長がみことばを取り次がれました。テサロニケ人への手紙第1、5章1節から11節が開かれ、交わりの大切さについてのメッセージをいただきました。

【以下総会報告】（敬称略）

議長の姫井雅夫（総動員伝道）が書記に植村公美子（OCC）を指名、議長が出欠を確認しました。

出席15団体、委任状9団体で、加盟25団体の三分の一以上に達し、規約第8条により総会の定足数を満たしていることが確認され、議長より総会成立宣言がなされました。

議案として、2021年度の活動報告、会計報告、会計監査報告がなされ、引き続いて2022年度の活動計画案、会計予算案が出され、満場一致で承認されました。

引き続き加盟団体相互間の協力体制づくりや、参加していない他団体とも今後関係を築き、加盟団体を増やして行くことを確認しました。

なお、役員は2年任期の2年目に入るので、2022年度の改選はありません。監査役（2名）については、次年度総会までに、会員団体より候補を選ばせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

会長の働きは、姫井雅夫師にもう1年担っていただくこととなりました。

福音ネット伝道協力会（FNDK）の小川政弘の閉会祈祷を持って、総会を終了いたしました。

「伝道団体連絡協議会」ホームページアドレス・QRコードの変更のお知らせ

この度作成いたしました、同封の『伝道団体連絡協議会案内パンフレット』の、[ご加入のご希望・お問い合わせ］の箇所に記載されている、伝道団体連絡協議会のホームページアドレスが、更新のため、以下の通り変更となりました。

■変更前
https://dendankyo.jimdofree.com/

■変更後
https://dendodantairenrakukyogikai.jimdofree.com/

つきましては、変更後のQRコード（左記参照）を同箇所に差し替え貼付させていただきました。

※旧アドレスのホームページは削除できませんが、コンテンツの主なものはすでに新ホームページに移行し、なお漸次この数年間のものを更新していきますので、今後は新ホームページを閲覧くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆伝団協「秋のフェスティバル」ご案内◆

昨年度・一昨年度はコロナ禍により、ZOOMによるオンライン集会として開催しましたが、今年度は　久しぶりに一堂に会して開催したく、企画しています。（ZOOMを併用するハイブリッド開催とする予定です。）

日時　2022年10月10日㊗ 15:00～17:00
会場　お茶の水クリスチャンセンター8F チャペル

【プログラム】

基調講演	アンテオケ宣教会　大田総主事
団体紹介	ロールプレイによる伝道活動の紹介 ①福音ネット伝道協力会 ②日本国際ギデオン協会
コンサート	「小坂忠師を偲んで」 ミクタムレコード&ミニストリー

加盟団体の皆さまには、是非ともご参加をお願い申し上げます。
加盟団体以外の一般参加も募集する予定です。

ミクタムレコード＆ミニストリー

https://michtam.com/
〒359-0025　埼玉県所沢市上安松66
TEL.04-2941-6816　FAX.04-2946-9629
info@michtam.com

●ミクタムは日本のリバイバルを願い、「音楽での福音宣教」と「新しい時代の礼拝賛美の創造と普及」を２本の柱として活動を続け、宣教の働きと共に、新しい礼拝音楽であるワーシップソングの制作＆翻訳とその普及に努め、クリスチャンの信仰生活を励まし、教会に仕えることを大切にしてきました。

●これからも、新しい作品の制作、クリスチャンアーティストを発掘育成、ワーシップソングの普及等やるべき事がたくさんあります。この働きの中から2020年には新しくエム・ワーシップ・プロジェクト（M Worship Project）なども生まれてきました。創設者の小坂忠のビジョンのバトンを受け取る者が日本中に起こされていくことを期待しています。

●イエス・キリストを愛し、主の教会を愛し、賛美を愛し、日本を愛し、この国に賛美が満ち溢れ、リバイバルが与えられる時を待ち望みます。

「ジェリコ・ジャパン」ステージ

「プレイズ＆ワーシップ」

小坂忠先生・小坂（高）叡華先生ご夫妻

日本CGNTV

http://japan.cgntv.net
〒1169-0073　東京都新宿区百人町2-23-46 OKUBO23番館 2階
Tel: 03-5338-6620　Fax: 03-3366-0055
cgntvjp@gmail.com

映像を通して福音を伝える放送局CGNTV
日本全国の教団・教派を超えた2,000の地域教会と協力して、24時間365日福音番組を放送しています。

NEW 視聴受信機「ドリームオンプラス」
インターネットがつながる場所なら、テレビと受信機をつなぐだけで簡単にCGNTVの全チャンネル(日本語、韓国語、中国語)が高画質で24時間視聴できる受信機を国内外に配布しています。無牧/兼牧教会・宣教師・海外在住日本人支援の無料設置、伝道を応援する無料設置キャンペーンを実施していますので、お気軽にご相談ください。

様々なジャンルの番組を制作 "子ども礼拝番組" "YouTubeオリジナルコンテンツ"
救世軍と共同制作しているこども番組「しもべあの大冒険」やこども礼拝「パップスキッズ」ではアニメ、賛美、Q&Aなどを通して、子どもたちが毎週楽しく福音に触れることができます。CGN YouTubeチャンネルでは、クリスチャンぶっちゃけトークコンテンツ「キリストーク」や、賛美コンテンツなどオリジナルコンテンツが大人気です。

ドキュメンタリー「路上の隣人」ICVM クラウンアワード ベスト外国作品部門 銀賞受賞

ICVM(International Christian Visual Media Association)が主催する世界最大のキリスト教コンテンツ授賞式にて受賞した本作は、路上生活者を30年近く支援する横浜カナンキリスト教会に密着したドキュメンタリーです。コロナ禍を含む現代の様々な問題の中で、痛みを覚え苦しむ人々へ神の愛を届ける作品をぜひご視聴ください。
ドキュメンタリー視聴はこちら▶

近況&祈りの課題

vol.97
2022年7月

福音ネット伝道協力会

（1）インターネット配信伝道番組「この指とまれ」が、世界の人々に聴かれるように。またコロナ禍のオンライン録音でも、高クオリティーのドラマを制作できるように。

（2）5大コンテンツの充実

①「この指ドラマ館」

②＊新約聖書ドラマ「イエスに出会った人々」

③旧約聖書ドラマ「神を見た人々」

④＊日本語版「解き放たれた人生！」

⑤聖書・名作朗読 ＊Biblica You version LB新旧約。（＊は制作完了）。

（3）同労者（出演者）現在7名(出演　男性4名、女性1名、計5名、編集　女性1人、運営委員　男性牧師1人)感謝。更に参加者が与えられるように。

（4）伝団協の他の伝道団体と、宣教協力ができるように。TWR、BBNに番組提供、PBAのBRIDGEに提供準備中感謝。

URL:https://konoyubi-drama.jimdofree.com/

日本YWAM

コロナ禍の中、祈り求めてきた海外からの働き人に対する宗教ビザの発給がようやく再開されました。これによって新しい宣教師の日本への受け入れが始まっています。日本に11ヶ所あるYWAMの活動拠点での動きも徐々に活発化していくことを期待しています。沖縄ではDTS（弟子訓練学校・全寮制・6ヶ月）が2月に、ミニDTS（通学制・週2回）が6月11日に終了しました。そして6月20日からは新たなDTSが始まります。

●短期ビザが開かれ、短期宣教チームが入国出来るように。

●YWAMが日本の祝福となれるように、謙り仕える心が与えられるように。

●更に多くの地域に活動拠点を開拓し、地域教会とも協力していけるように。

総動員伝道

今年も断食祈祷聖会、つづいて首都圏イースターのつどいをご支援、ご協力をいただいて開催することが出来ました、感謝

次の祈祷課題は9月26日から歩き出す「恒例」のWalk with Jesusです。今年は北國街道です。

●日本の教会数が減ってきています。増えるように。

●献身者も減少。将来の主の器の興起を。

●礼拝参加者の数も激減。youtubeが用いられていることは感謝。

でも一緒に集まることの意義も果たしていきたいです。

お茶ノ水クリスチャン・センター

●館内団体のみならず各教会、教団教派を超えて宣教団体と一致協力して多方面から宣教を考え、日本伝道のために仕え、用いられますように。

●お互いの団体の理解を深め愛しあい、交わりがますます豊かになりますように。

●主催集会の祝福をお祈りください。撮影・収録・編集等、助け手が与えられますように。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

中川健一

定例の奉仕は、以下のような内容です。（1）毎週1回、講解メッセージをネット上で配信しています。現在は、ルカの福音書を取り上げています（2）月に1回、「神の国と悪魔の国」というタイトルで、テーマ説教をネット上で配信しています。（3）週に2回、メールマガジンをEメールで配信しています（登録者数は約7000名）。内容は、短い時事解説とハーベスト・タイムの業務報告です。

特記事項としては、『中川牧師の一日一章』第2巻の発売を挙げることができます（6月中旬に発売）。聖書通読と日々のデボーションのためのガイドブックとして、全5巻発売予定です。第2巻は、旧約聖書の歴史書を取り上げています。本書が、日本の霊的覚醒に役立ちますように、お祈りください。

高校生聖書伝道協会（hi-b.a.）

昨年の秋、オンライン集会を中心にしていたところから対面活動に戻し始めてしばらくは高校生たちの参加も少なかったですが、冬、そして春にキャンプを対面で開催してから、平日に行っている各地での集会にも高校生たちが戻ってきました。高校生に限ったことではないですが、やはり高校生たちは直接顔と顔を合わせてリアルな交わりを求めていることを感じています。主を第一にして、神中心の交わりを喜びながら、福音を宣べ伝える者として高校生による高校生伝道を行うことができるようにお祈りください。

また、この夏も主催キャンプを関東と関西で計画しています。感染から守られて安全に実施できるように、そして何よりも多くの高校生が参加して神の恵みを受け取ることができるようにお祈りください。

PBA 太平洋放送協会

●全国各地で放送伝道の働きを進めておられる教会が支えられ、必要が満たされますように。

●「世の光」「ライフ・ライン」などを通して、多くの方々にキリストの愛と希望を届けることが出来ますように。

●番組制作に、主の知恵と助けが与えられますように。

●「聖書チャンネルBRIDGE」が広く用いられますように。

アンテオケ宣教会

今年度45周年を迎え、改めて背後の皆さまのお祈りとご支援を心から感謝しております。

世界情勢が大きく変化する中、宣教の現場においても、ビザ取得の道がますます狭められ宣教地の変更など、様々な試練と課題がありますが、それぞれの宣教師が主のみ心のうちを歩み、どこにいても宣教が前進していきますように。記念リトリート、記念誌発行、PR動画作成他、内部的にも様々なことに取り組んでおります。総主事、理事、主事に神様の知恵が与えられ、正しく取捨選択し、最善をお捧げできますように。公式YouTubeチャンネル「じゃむちゃん」、オンライン宣教祈祷会「結祈(ゆいき)」が用いられますように。宣教師志願者たちの道が整えられますように。

東京プレヤーセンター

主の導きにより、設立十一年目を迎えています。

宣教の拠点「祈りの家」として、三六五日礼拝と祈り会を継続し、TPCラーニングという学びの会を適時開催しています。また、クリスチャン団体の活動を支援するため、貸室を提供しています。どうぞ御利用下さい。

おもな祈りの課題は、

①クリスチャンが聖霊様に満たされて元気になり、日本と世界にリバイバルが起こされますように。

②若者がTPCをつながりの場として活用できますように。

③スタッフに新たなメンバーが加わりました。TPCの働きが益々豊かに用いられますように。

小さないのちを守る会

●もっとも小さないのちである胎児が守られ、生まれ出て、輝きますように。小さないのちを守る思いが広がり、表現されるように。予期せぬ妊娠であっても、いのちを大切にし、産む選択をすることができるように。そのためにクリスチャン、教会が声を上げ、受け入れることができるように。

●いのちをめぐる相談のために御霊の知恵が豊かにあるように。予期せぬ妊娠のほか、家族や子育ての相談も受けることがあります。一人一人のいのち、存在を大切にしていけるように。

●新体制になって一年が過ぎました。辻岡健象代表からバトンタッチした國分広士会長の支えと導きのために。その他運営委員は牧師をしながらの働きです。専属の働き人の導きをお祈りください。

日本 CGNTV

1．CGNTVの番組が、聖い福音の道具として用いられ、特に次世代向け番組と、YouTubeコンテンツを通して、次世代の伝道が進んでいくように。

2．この地で継続して宣教をするために、1000名の継続サポーターが与えられますように。

3．11月2日、3日に行われる「ラブ・ソナタ宮崎」を通して一人でも多くの魂がキリストに出会えるように、また宮崎の教会がリバイバルするように。

日本キリスト伝道会

第53回「日本伝道の幻を語る会」を以下にて開催予定していますので、お祈り願います。

①日時：2022年8月23日(火)～24日（水）

②場所：市川市市川1－3－14 山崎製パン企業年金基金会館

③主題：「若者と共に日本伝道のビジョンを！」― I am here, Send me! Isaiah 6:8

④講師：近藤勝彦先生　大嶋重徳先生　藤井圭子先生

音楽：永島陽子　柳瀬佐和子　吉本真理　サードプレイスワーシップ

若者からの発題：神学生など3名

新生宣教団

●迫害下にいる兄弟姉妹の安全と信仰生活が守られるように。特に中国、北朝鮮の教会の方々のために。

●聖書を手に入れられない国や地域の人々へ、一冊でも多く届けることができるように。

●ロシアとウクライナの戦争の終息。そして平安が一日も早く訪れるように。

『協力』97号　発行日：2022年7月27日
発行所：伝道団体連絡協議会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1　OCC614号室
https://dendodantairenrakukyogikai.jimdofree.com/　dendankyo@gmail.com
発行者：姫井雅夫／印　刷：（宗）ニューライフ・ミニストリーズ新生宣教団（500部）